

2014年6月2日

報道関係各位

ソーラーフロンティア株式会社

ソーラーフロンティア、“未来の農村”へのエネルギー供給に貢献

亀田郷土地改良区（新潟市）の発電施設に採用

【東京－2014年6月2日】－ソーラーフロンティア株式会社（代表取締役社長：玉井裕人、本社：東京都港区台場二丁目3番2号、以下：ソーラーフロンティア）は、この度、「亀田郷土地改良区」が実施する太陽光発電事業（「小松堀排水路発電施設」と「松山発電施設」）において当社のCIS薄膜太陽電池が採用されたことをお知らせいたします。

「亀田郷土地改良区」は新潟市の都市部に近接し、農業地域の総合的な環境整備と有効活用を進めるものです。本事業は、同区が主体となって取り組む太陽光発電事業の先行的事例であり、本施設において発電された電気は全て東北電力株式会社に売電され、亀田郷土地改良区における揚水・排水施設等の管理費負担を軽減して持続可能性の高い農村環境整備に貢献するものです。

特に、「小松堀排水路発電施設」は全国初となる農業用排水路法面（のりめん）への大規模設置事例であり、将来的には、モジュール設置による雑草抑制と法面維持の両立、新たな農業エリアの景観の創出といった、発電以外のメリットも期待されます。

なお、同地区では2011年から農業用水路法面を有効活用した太陽光発電の実証実験（※）が実施されており、同実験でもソーラーフロンティア製CIS薄膜太陽電池の実発電量の高さや、積雪時の雪の滑り落ちの良さ、部分的な影の影響の少なさ、メンテナンスコストの低さ、周囲の景観を損なわない落ち着いた色調等の特長が確認されました。

ソーラーフロンティアは、これからも、亀田郷土地改良区「未来の農村」の太陽光発電事業をサポートしていくとともに、環境に優しいエネルギーの提供により、持続可能な社会作りに貢献してまいります。

	小松堀排水路発電施設	松山発電施設
設置場所	新潟市江南区早通地内ほか	新潟市江南区松山地内
敷地面積	約 3,000m ²	約 5,200m ²
太陽光発電容量	368kW	432kW
太陽電池モジュール設置枚数	2,232 枚	2,620 枚
年間予想発電量	368,000 kWh	432,000 kWh

※亀田郷土地改良区ならびに東京大学国際高等研究所サステナビリティ学連携研究機構（IR3S）および昭和シェル石油株式会社による共同事業であるエネルギー持続性フォーラムの一環である『新潟農村地域での太陽光システム導入に関する共同研究』において実施。第9回公開シンポジウムにおいて発表。 <http://www.ir3s.u-tokyo.ac.jp/partnership/forum/>

以上

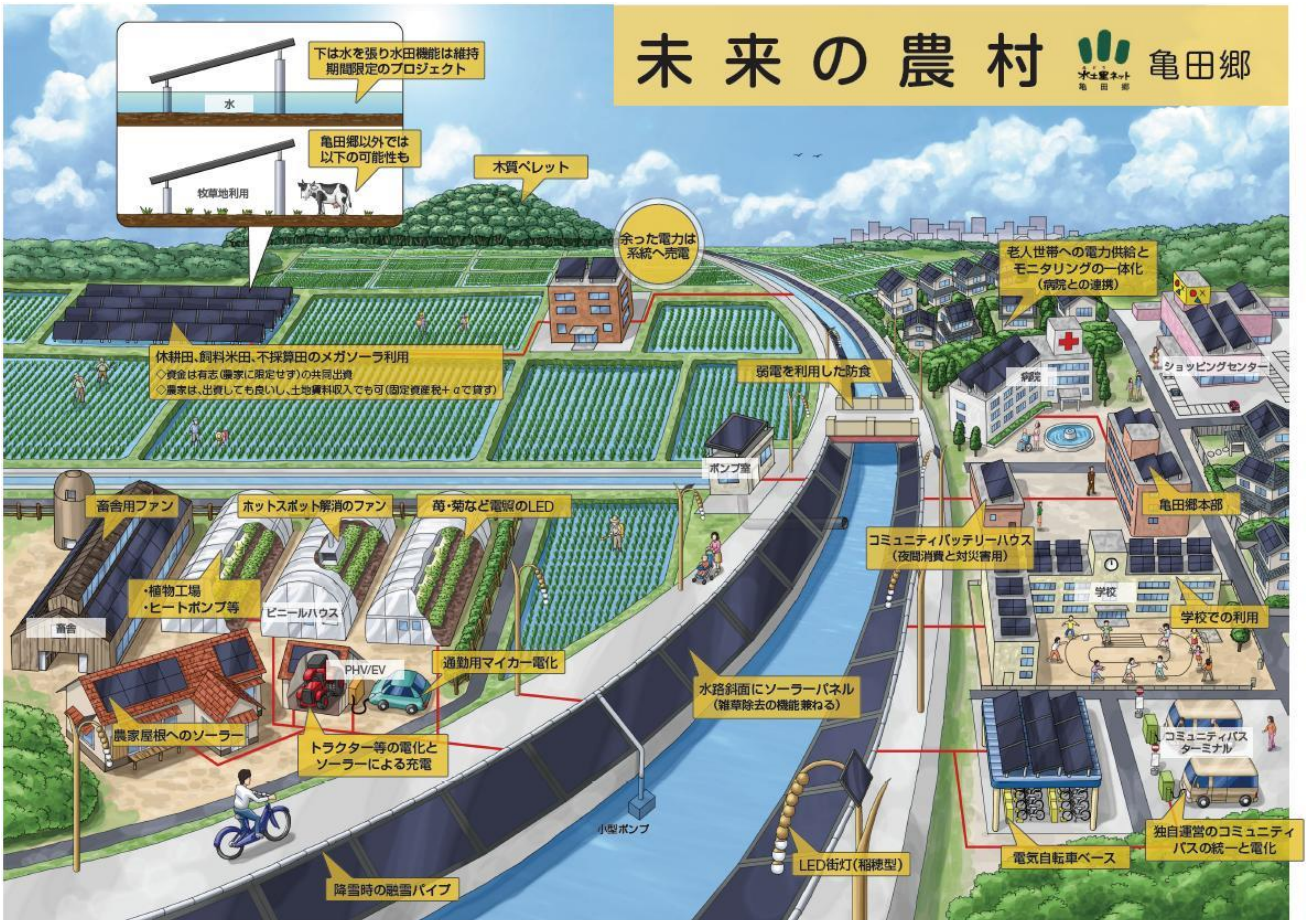
【イメージ写真】



法面に設置された小松堀排水路発電施設



松山発電施設



未来の農村イメージ図 画像提供: 東京大学国際高等研究所 IR3S、亀田郷土地改良区 <http://www.kamedagou.jp/index.html>

【ソーラーフロンティア株式会社について】

ソーラーフロンティア株式会社は昭和シェル石油株式会社(5002, T)の100%子会社であり、CIS 薄膜太陽電池の生産・販売を行っています。2011年2月より商業生産を開始した国富工場(公称生産能力900メガワット)は、CIS 薄膜太陽電池の生産工場として世界最大です。ソーラーフロンティア株式会社が生産・販売するCIS 薄膜太陽電池は、銅、インジウム、セレンを使用し、当社の独自技術で生産する次世代太陽電池であり、経済効率が高く、環境に優しいことが特徴です。太陽電池の設置容量(kW)あ

たりの実発電量(kWh)が従来型のものに比較して高いだけでなく、原料からリサイクル処理まで高い環境意識で設計・生産されており、その長期信頼性や保証体制に関しては「JETPvm 認証(JIS Q 8901)」などの第3者機関による認証を受けてきました。デザイン面でも、内閣総理大臣表彰「第2回ものづくり日本大賞」で優秀賞(製品・技術開発部門)、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2007年グッドデザイン賞」では特別賞エコロジーデザイン賞を受賞しています。詳細につきましては[当社ホームページ](#)をご覧ください。当社公式の[ブログ](#)、[Facebook](#)、[Twitter](#)でも太陽光発電に関する最新情報などを随時発信しています。

報道関係からの問い合わせ先:
ソーラーフロンティア株式会社 広報部
吉田・川村 TEL: 03-5531-5792